

平等寺だより

多武峰妙楽寺の再建 感謝の言葉

住職 丸子 孝法



放された人々が集っていま

筋を真直に伸ばして坐りな

持(指圧)が終った頃、背

特大のできもの癱(よう)

のできものといわれます。

兄の吸い出しの薬のおかげ

が5本でて、奇跡的に不治

の病リウマチが治ったので

す。

昭和40年の3月、この山

形、奥山先生のところ、奈

良から先代師匠と奥様が弟

子をさがしにこられたので

す。私が滋賀の東洋レィヨ

の1週間後、私が初なりの
胡瓜5本を奥山先生の神棚
にお供してしまつたのです。
このことが、私が半年後、
奈良のお寺の弟子となる決
定打になつてしまいました。
実にリウマチ大菩薩様のお
導きで仏弟子になれたので
す。

心寺の修行をへて、この寺
に入りました。やがて高宮
の岡本はる様が師匠に帰依
し、はじめての檀家ができ
たのです。
私が弟子入りをして6年
後、昭和46年10月26日、末
期の癌により師匠は遷化さ
れました。その年の夏の終
り、師匠に喜んでもらおう
と茶色の木綿の布で七条の
お袈裟をぬい、最後の一针
は師匠にかえしていただき
ました。できあがつたお袈
裟を見て、師匠は大変によ
ろこび、弟子の私をほめて
くれました。その時です。
師匠が三つの約束をしてく
れといいだしたのです。一
つは二足の草鞋をはくはな
二つ目は墓は小さくていい
からこの寺の中に建ててほ
しい、三つ目は、托鉢をし
ても本堂を再建してくれ
ということでした。

托鉢といつても毎日が托
鉢三昧、朝から日没まで歩
くのです。しかも警察も銀
行も一軒もとばさずに歩く
のです。水をかけられるこ
ともありません。雨の日も
風の日も、犬猫を追い払わ
んばかりの冷たい思いもし
ました。托鉢で本堂を建て
ることなど無理なことだと
挫折を感じたこともありま
した。しかし16年、世の中
の多くの人々に励ましをい
ただき10万人のあたたかな
お心を頂戴し、昭和62年7
月1日落慶法要を迎えるこ
とができたのです。
大本山永平寺77世丹羽廉
芳大禅師猊下を御導師に拝
請し、県内外のご寺院様は
じめ600名のご参列をいただ
き、平等寺の本堂・鐘楼堂・
鎮守堂・寺務所の落慶法要
が営まれ、その様子をNH
Kが全国放映されました。
この時の一連の工事を担
当されたのが、信仰心の篤
い榛原の松塚建設株式会社・
松塚善一様でした。松塚様
は、「方丈様の集めた托鉢
の浄財は1円たりとも無駄
にはできない」という、あ
たたかなお心で建築に当た
られました。

発行

☎633-0001
桜井市三輪38
三輪山平等寺
TEL/FAX
0744-42-6033
[http://www.
byodoji.org](http://www.byodoji.org)

思い返しますと、昭和51年の台風で境内南側の石垣がくずれ、阿部の岡本製材・太田製材様から無料で頂戴した材木を、鮑かけのみいれをして夜なべして手作りで赤門を完成したことが基礎となり、飛鳥時代の本堂の設計をしてみようと思いましたが。しかし、学べば学ぶほどに難しさがわかるものです。

丁度、何かのご縁で奈良県文化財保存課の松田敏行先生のご指導をおおぐことができました。おかげさまで本堂・鐘楼堂・鎮守堂・寺務所と設計図をまとめることができたのです。

平成16年、桜井の瀧川寺社建築様により旧平等寺古図に基づいて800年ぶりに二重の塔・釈迦堂が再建され、平成20年には昭和9年の室戸台風で倒壊した75年間柿畑になっていた大和郡山城主・本多公菩提寺久松寺を、大和郡山市藤本建設株式会社様により再建し、この度令和三年秋、廃仏毀釈より丁度150年ぶりに多武峰妙楽寺一院が桜井市石黒建築様・石黒英人棟梁様により立派に建立して

ただくことができました。平等寺本堂の大きな二つの厨子・地下の工事一式が松塚善一様のご寄進でありました。この度の妙楽寺本堂の須弥壇は、ありがたくも石黒棟梁様に製作ご奉仕をいただきました。

また平等寺から妙楽寺までの一連の建築用材は一貫して天理の佐藤木材株式会社社長 佐藤典嗣様・佐藤和彦様・佐藤典嗣様にお世話になり樹齢数百年の尊い材木を提供ご奉仕いただきました。感慨無量でありました。

かの京都宇治の萬福寺の鉄眼禅師は、日本におけるお釈迦様の一切経の開版を志し、16年間の勸進托鉢を通して大偉業をなしとげられました。この時に一貫して禅師をささえられたのが、托鉢をはじめた最初の日、五条の橋の上で、バツタリ出会った若いお武家様・溝口源左衛門信勝でありました。

信勝は後に吉野山の代官に出世して吉野山全山の桜の樹を伐採して鉄眼版大蔵経6万枚の版木ができて、日本における最初の大蔵経ができたのです。

佐藤木材の佐藤和彦様は、私にとりましては溝

口源左衛門信勝のようなお方で、一連の再建に真心こめてご奉仕ご助力下さいました。

この度の妙楽寺一院の再建は、50年来の念願でありました。同じ桜井市内で廃仏毀釈により廃寺となつたのは、平等寺と妙楽寺です。平成28年、大本山永平寺副監院をつとめておりました折に、妙楽寺は永平寺のご開山・道元禅師様の御祖父・藤原基房公が三重の塔を寄進された寺で、永平寺二代孤雲懷奘禅師、三代義介禅師、四代義演禅師様方のご修行なされた寺であり、再建の思いを福山諦法禅師様にお話しあげて、奈良に帰りました。

すぐに多武峰妙楽寺の跡地をお持ちの方にお譲りいただきました。幸いに三輪の三杉不動産の田中司郎様にお願ひし、多武峰の橘茂雄様に妙楽寺本坊・青蓮院宮跡地500坪をお譲りいただきました。この田中司郎様は再建に向けて一貫してご尽力いただきました。

また境内隣地の辻本良夫様、上杉忍様にも大変ご協力をいただき再建をみる

ことができたのであります。

誠心誠意の皆様の真心が結集しました。地元の株式会社中和コンストラクション様はじめ、株式会社都市企画設計様、有限会社ウスイ様、中村石材工業株式会社様、株式会社ナカガワ様、有限会社関西ルーフコンサルタント様、株式会社石創コーポレーション様、中西指定仏像修理所様、ムラセ銅器様、岩澤の梵鐘株式会社様、芹井設備工業株式会社様、光栄電気株式会社様、下高谷司法書士会社様、荒井印刷店様、ダイワ公

告様、フジモト化成様、お仏壇の浜屋様、宇陀市森林組合様、アールジェイ株式会社様、それぞれ皆様に大変お世話になりました。更に記念誌作成の写真は、これまで日本のみならずパリをはじめヨーロッパで活躍された写真家・師岡清高様はじめ、田中司郎様、株式会社中和コンストラクション様にお世話になりました。

特に今回のすべての塗装は、東レ時代の友人、滋賀の河内大典様、寺族

の丸子妙幸様、弟子の孝仁様、檀家の辻健夫様の奉仕によりました。及ばずながら私も天井絵や妙楽寺の全景図、歴代祖師図、釈迦八相図、光背や山号額の金箔押し等、できうることはすべて取り組んでみました。

飛鳥時代653年、藤原鎌足公の長子・定慧和尚が遣唐使とともに唐に渡り、玄奘法師の弟子・神泰法師のもとで佛法を学び、日本に帰国され多武峰妙楽寺を創建されることになりました。藤原鎌足公が長子・定慧和尚に出家の道を歩ませた、その広大なる帰依三宝の御心は、用明天皇様の「佛法を信じ神道を尊ぶ」、聖徳太子様の「篤く三宝を敬う」という日本の国の根幹に基づくものであります。

開創1342年後の今日、多武峰妙楽寺の一院が再建され、「法燈再び照らして悉く和平ならん」を祈念し、今日まで再建の道にあたられたかきぎりでくださいましたかぎりない多くの皆さまに心より感謝申しあげ、むすび

と致します。合掌

水平社創立の理念を共有し、人類最高の完成へ 水平社博物館 館長 駒井忠之



全国水平社は人間の尊厳と平等を求めて、1922年3月3日に創立されました。その大会は京都で開催されましたが、創立の中心を担ったのは現在の奈良県御所市柏原で生まれ育った青年たちでした。創立大会で「吾等の中より人間を尊敬する事によつて自ら解放せん」と創立者たちが発信した全国水平社創立宣言（以降、水平社宣言）は、日本で初めての人権宣言と



▶全国水平社創立大会への参加を呼び掛けるチラシ

言われています。差別によって歪められてきた自尊感情を回復し、人間の尊厳を取り戻そうと訴えたこの水平社宣言は、被差別部落の人たちだけではなく、在日朝鮮人やウチナンチュ（沖縄人）、アイヌ民族やハンセン病回復者らの自主的な人権回復運動の展開に刺激と勇気を与えました。さらに、日本の植民地支配下にあった朝鮮では、1923年4月に朝鮮の被差別マイノリティ「白丁」（ベクチョン）を中心として水平社（ヒョンピョンサ）が創立されました。 厳しい差別のなか水平社と衡平社が連帯を求めて交流したその歴史は、「水平社と衡平社 国境を越えた被差別民衆連帯の記録」として、2016年にユネスコのアジア太平洋地域「世界の記憶」に登録されました。また、アメリカの雑誌『The Nation』が水平社宣言を英語で紹介するなど、世界も注目した水平社宣言は被差別マイノリティが発信した世界初の人権宣言と

しても評価されています。水平社宣言の「人の世に熱あれ、人間に光あれ」には、綱領に示された「人間性の原理に覚醒し人類最高の完成」に向かう水平社創立の理念が集約されています。仏教には「無碍の光明は無明の闇を破する恵日なり」という言葉がありますが、「人間に光あれ」の「光」とはつまり、迷いの闇を破し、真理をさとりあらわす仏・菩薩の「光明」のことで、人間の尊厳が絶対であるとする真理に人びとを導く「光」のことでしょう。

水平社の創立以降、人権を回復してきた道のりは、



▶全国水平社の創立者たち

自由や平等を求め未来に引き継ぎようとしてきた先人の弛まぬ努力によって私たちが引き継がれてきました。水平社博物館も、水平社が運動の二本柱としてきた人間の尊厳と平等を求めた理念と、差別を許さない不屈の精神を引き継ぎ、その想いを未来につないでいきます。差別が厳しく残存する過酷な状況のなか、道なき道を突き進み、「人の世に熱あれ、人間に光あれ」と願いつけてきた先人の想いこそが、差別の芽を摘み、差別の連鎖を断ち切る真理であると信じて。人間の尊厳を求めその意志を貫くことが差別の克服につながるのと信じて。温かさに満ちたその想いこそが、人間が尊敬される「よき日」の夜明けへと導く光であると信じて。

水平社創立の理念は2015年に国連サミットで採択されたSDGs（持続可能な開発目標）に掲げられている「人や国の不平等をなくそう」や「平和と公正をすべての人に」との目標にも通じており、後世へと継承し未来に遺していかなければならない私たちの財

産です。森の火事に嘴ですくった一滴の水を落とし続ける『ハチドリ』のひとしづくのごとく、一歩ずつ、ともに「人間性の原理に覚醒し人類最高の完成に向つて」歩んでいきましょう。 水平社博物館は水平社創立100周年の記念日（3月3日）にリニューアルオープンします。水平社博物館が果たす社会的役割や展示の趣旨にご賛同いただき、みなさまのご支援（賛助会への入会）をお願いいたします。

誰もがありのままの自分で、リラックスして生きていくことができる社会になることを願い、「人の世に熱あれ、人間に光あれ」。



▶水平社博物館



多武峰妙楽寺本坊落慶法要
 多武峰妙楽寺の一院を皆様のご支援ご協
 力のもと完成再興させて頂きました。令和
 3年11月3日に落慶法要を、コロナ禍のた
 め内献にて修行させて頂きました。



**秋の夜の
中川五郎ライブ**
 11月18日、中川
 五郎さんが愛と平
 和を歌う姿に感動
 しました。



鴻の池坐禅会様来山
 長年にわたり坐禅に親しまれてきた鴻の池
 坐禅会様が平等寺で坐られました。

旧本堂跡に解説板
 桜井市教育委員
 会様が旧平等寺本
 堂跡に解説板を設
 置されました。



年間行事予定

【二月】一〜三日 修正会

十一日 十四時 初護摩会

【三月】三日 星祭会

十五日 六時 涅槃会

【三月】二十一日 彼岸会

【四月】三日 十時 大護摩会

花祭り会・ちごおねり

【七月】上旬 本山研修会

十日 八時 作務の日
下旬 子供坐禅の集い

【八月】一日 最勝会・施食会

二十三日 十三時 地藏会

【九月】二十三日 彼岸会

【十月】下旬 県梅花大会

【十一月】二・三日 晋山結制

【十二月】一〜八日 朝六時

歳末托鉢行・摂心会・成道会

二十一日 十四時 終護摩会

三十一日 除夜の鐘

月間行事予定

一・十五日 六時 祝祷朝課

一日 十四時(行事は別) 梅花講

二十四日 十四時 水子供養

二十八日 十四時 護摩会

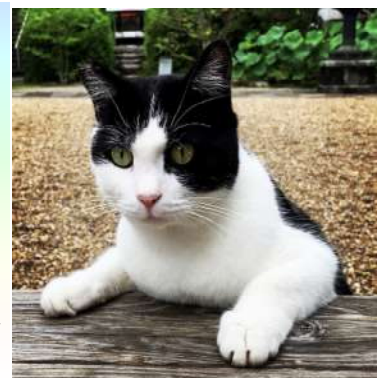
(一・四・十二月は右記参照)

日曜日 六時半 坐禅会

ハートが行く③

お寺の猫「ハート」は、な
 んでも興味津々です。誰がど
 こへ行くのか、よく見してい
 ます。お寺の中では、よく先
 回りして待っています。なん

でも知っているようです。



YOUTUBE開設

チャンネルを

開設しました。



案内

ホームページ
 です。ご覧ください。



三輪山裏

世界的な新型コロナウイルス感
 染症の感染拡大によつ
 て私たちの生活が急激に変
 わり影響を受けています。が
 くれぐれもご自愛ください。
 今年の3月3日に水平社
 は創立百周年を迎えます。
 人と人とが尊重し合い、違
 いを喜びに感じられるよう
 な寛容な社会になることを
 願っています。 孝仁合掌